## 予算事業別事務事業評価シート【対象年度: H27年度~H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	,	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	108,300千円	108,612千円	139,124千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	5,200千円	
総事業コスト	110,578千円	110,841千円	144,324千円	

	·	•					•									
事務事業名	配水場等施設の維持管理及び運転管 理事業	指標名	3 業務実績					指標種別	活動結果指	<b>一</b>						
	「注		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	]	指標の概要	-			
戦略プラン	- - -	目標値	365	366	365	3	65	365	366	365						
	- - -	実績	365	366	-											
総合戦略				H27年度				H2	8年度	その他の指標			-			
		改善適	正な業務の履行を 督·指導を強化する	確保するため , i 5。	確保するため,業務受託者に対し			業務の履行を確信 弾を強化する。	保するため,業剤	<b>务受託者に対し</b>						
		標				目標		(13 (34))				事業実施 コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	-										1	事業費(A)	108,300千円	108,612千円	139,124千円	0千円
		事第	三者委託の契約期	間が当年度まで	ごのため , 平成28年	事	平成28年	年度以降の委託	業務については	: ,業務内容の見		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	水道法24条の3	業  度	三者委託の契約期 以降の委託業務に , 更なる水道水の3	ついては,業務 安定供給に向け	内容の見直しを行 取り組みます。	事業計画	直しを行 ます。	が,更なる水道	水の安定供給に	向け取り組み		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業										$ig  \left[ ig   ight]$	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		運	転監視業務(浄・配	水場の巡視点板	食及び末端の水質	上						一般財源	108,300千円	108,612千円	139,124千円	0千円
執行体制	全て委託	活備	理を召り。),機械 ,電気計装設備の 工作物保安管理器	配水場の巡視点検及び末端の水質 成設備,薬液注入設備,自家発電記 O各定期点検業務のほか,自家用 業務,消防設備点検業務,施設保 操機整備点検業務,配水池等清掃 Bの計10項目を包括的に実施しまし	半期活					_	人件費(B)	2,278千円	2,229千円	5,200千円		
		実   気管   務	理業務,階段昇降 ,配水場清掃業務		3,配水池等清掃業 .括的に実施しまし	ノ ∥ 夫						近事 正割合	0.30人	0.30人	0.70人	
事配水均	場等施設の適切な運転及び維持管理を実 お客様である水道使用者に安心してご利用	た。				績						時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
の目 いただるため	お客様である水道使用者に安心してご利用ける安全な水道水を常に安定的に供給する。	1/~	米, 職員が行ってい 老系試したことにい	っていた連転管理業務を民間企業 とにより,民間の技術やノウハウを		-						臨時職員等	有	有	無	
ם ש		成場	有安配のたことによることで維持管理等 事業体にとって技術	で、民間の技術 美務の充実が図れ お者の確保が困	やデラハラを店所 れました。また,水 難な状況のなか	■上 ■ 判 期						事業コスト (A + B)	110,578千円	110,841千円	144,324千円	
		^  で	,技術的に難し〈ななど,技術上の業績	る浄・配水場のコ	運転管理や水質管	成					Н					
_					AN Palata and A						4	F				
	は24条の3の規定に基づき,浄配水場施設 ☆管理等業務を委託する。	課者同	道事業に携わる専れは,全国の事業( 委託事業もこの流; 時に委託事業を監 となっている。	門職員の人数か 本に共通する傾[ れの一環により] 督する立場であ	ヾ減少しています。 句です。当該第三 実施していますが, る職員の育成も必	課題	-					当   刀   - 責 章				
		事第 進捗	能の 大況 達成	目標の 進捗状況	達成		事業の き捗状況	-	目標の 進捗状況	-	拠					
	その他		有効性 中∶適切な	成果が得られて	113	_	有効性	-								
ISO 14001 関環 性	-	評価	効率性 中:適切な	費用対効果が得	鼻られている	評価	効率性	<u> </u>				29年度 方向性 -	理由 -			
性境		松公	合評価 B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	価 -								

## 予算事業別事務事業評価シート【対象年度: H27年度~H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(共同水質検査手数料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	5,200千円	
総事業コスト	7,308千円	6,622千円	10,876千円	

事務事業	纟名	, -	水質検査事業	指標	票名 検査	<b>查</b> 実績					指標種別	活動結果指	票						
3 - 3/3 3 - 2/4	` _					H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	] :	指標の概要	水道水が水気	質基準に適合	していること	
戦略プラ	ラン	-		目標	票値	12	12	12	,	12	12	12	12						
		-		実	績	12	12	-											
総合戦略	略	١.	- -				H27年度			_	H2	8年度		7	その他の指標	-			
		-		改善	_				改善善										
				目標					目標						事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	画	-													事業費(A)	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円
				事	水道法及	とび水道法施 いな質様本	近行規則の規定に を実施し、総合計	基づ〈検査項目と 画の基本施策で	事業	水道法	及び水道法施行 より水質検査を実	規則の規定に基	はづ〈検査項目と 『の其本施策で		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令	)等	水	《道法20条	計	ある「安 <del>≴</del>	いか負換点 全で安定した い組んでまし	:生活用水の供給	この目的を達成す	∶∥計	ある「安	よりが負換量を発 全で安定した生活 双り組んでまいり	活用水の供給」	の目的を達成す		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
														内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	類	С	義務的事業											-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
±+ /- /+ /	Æıl		- アモヤ	,,					上半						一般財源	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円
執行体的	刑	王	: C 安託 	活動電	針として	,事業を推進	。 することを平成27年度の取組み方 もし,すべての水質検査結果が水質		▋期┃		-				人件費(B)	2,278千円	2,229千円	5,200千円	
				実績	基準に適	基準に適合していることを確認しました。			動					<u></u>	世界 正 制合 職	0.30人	0.30人	0.70人	
事業業の	道利	训用	]者が安心して飲用できるよう常に安全で						績					訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
の目的	仔な	冰	質であることを確認するため。		水道法及び水道法施行規則の規定に基づ〈検査項目					F					臨時職員等	有	有	無	
П				成果	頻度によ 質基準を	:り水質検査 :超過したこ	を実施し,その検 とはな〈,総合計画	i査結果が水道水 画の基本施策であ	半期						事業コスト (A + B)	7,308千円	6,622千円	10,876千円	
				木	る「安全 <sup>-</sup> した。	で安定した生	E活用水の供給」(	の目的を達成しま	成果					H	H 29				
の目	,頻	度	なび水道法施行規則の規定に基づ〈項 等により水質検査を実施することで,水 〈質基準に適合していることを確認する。	課題	基づき適大のおります。 素が 大給水性 良好な関で、水質	間に水質検 県水道水質 までの一貫 活用すると。 関係を保持し	査を実施する必該 共同検査業務の した水道水質の近ともに、関係機関、 、常に最新の情報 施策を先取りする	基本である水源か 適正な管理の特性 及び水道行政等と	課題	·					手 受当 切責章				
				進	事業の   捗状況 	達成	目標の 進捗状況	達成		事業の <u>き捗状況</u> T	-	目標の 進捗状況	-	13	処				
		その	D他		有効性	中:適切な	は成果が得られて	เาอ		有効性	<b>E</b> -								
ISO 14001 関 連 性	<b>震</b>	-		評価	効率性		は費用対効果が得	言られている 評価						29年度 )方向性 -	理由 -				
性	元				総合評価	面 B∶成果·費	開対効果の向上に	2努めつつ継続実施		総合評	価 -								

## 予算事業別事務事業評価シート【対象年度: H27年度~H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
,	01	01	02	,	営業費用 配水及び給水費(配水場修繕)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	4,457千円	
総事業コスト	4,045千円	4,958千円	10,937千円	

事務事業	名 - 配水場内施設修繕工事事業	指標名	名 修繕実績					指標種別	活動結果指	標						
7177×			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	 H30年度	H31年度	H32年度	<b>┤</b> 扌	指標の概要	-			
戦略プラ	ン	目標値	<u>-</u>	-	-		-	-								
		実績	10	-	-	/										
総合戦電	各			H27年度			Т	H2	28年度		そ	· の他の指標	-			
	-   -   -	改善各	施設の重要度・能力 に必要な修繕工事	J・機能等を精査しながら,安定給		改善目標	፟፟፟፟፟፟፟ 【各施設の重要度・能力・機能等を精査しながら,安定給 ▮									
		標	に必安はド結工争	で美心する。	<b>大肥する。</b>		小に必多	女体形器工事を失肥する。				事業実施 コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	画  -										1	事業費(A)	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
		事	~トサモのキハ、供機器の	ない ままま はままれ	上吐竿上汩油上板	事	和北县。	N≐N供機器のせ	1度か見学及と9	持等に迅速に修		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令	  等 -	業  配   計  繕   画	水場の設備機器の を実施する。	政限で共吊光3	上时寺に迅迷に修		能小場の 揺を実施		(陣で共吊光土)	守に迅迷に修		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	頁 F 施設等維持管理事業										$\  \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
						上半						一般財源	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
	全て委託	活動緊	<b>刍丁車を</b> 含め計14	含め計14件の修繕を実施しました。		∥期 ∥活 - ■動 ∥実	月 舌  - 动   E				,	人件費(B)	2,278千円	2,229千円	4,457千円	
		実績	心工力 6日 20日・1									正 従事 正 割合	0.30人	0.30人	0.60人	
一 未   佐	く場等施設の適切な運転及び維持管理を実 , お客様である水道使用者に安心してご利用					績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
の目的	:だける安全な水道水を常に安定的に供給す					<u></u>						臨時職員等	有	有	無	
БA		成配	水場の設備機器の	故障や異常発生	上時等に迅速に修	上半期						事業コスト (A + B)	4,045千円	4,958千円	10,937千円	
		米   語	を実施する。			成果					H 29					
<b>=</b>		    	→担答の心法体≒□	<b>数がタ/ また</b>	タケッル が先に						年	<b></b> ≢ │				
事業の概要	く場の設備機器の故障や異常発生時等に迅 に修繕を実施するものです。	課題の	水場等の水道施設 ていることから,設保 とが予想されます。 な水道水の供給を	構機器の故障が 水道事業者とし 行う必要がある≀	今後増加するする て常に良質で安定 ため , 定期計画的	課題	-				当初   積	当   刃  - 責				
要		な	機器の点検に基つ 	〈施設の史新整 <sup>/</sup> 	備等が重要です。 ───		声光で		口拼本	1		艮				
		事第 進捗		目標の 進捗状況	達成		事業の 基捗状況 T	-	目標の 進捗状況	-	<b>拉</b>					
100	その他		有効性 中∶適切な	成果が得られて	113	=₩	有効性	-				20年度				
ISO 14001 関環 連境	- -	l ''''		費用対効果が得		評価	部   効率性   -				の	29年度 方向性 -	理由 -			
性		松	合評価B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評価	曲 -								